



TEL.048-530-6001

www.morita-toshikazu.com

森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)
〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
平日 9:00~17:00 (土・日・祝日はお休み)
FAX.048-530-6002

国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館1003号室
TEL.03-3508-7419 FAX.03-3508-3899

Eメール mmo@morita-toshikazu.com

morimori

森田俊和

森田としかず

検索



新型コロナウイルスから 命と暮らしを守る!

この半年間、皆様からの多くのお声をいただき、国、県、関係機関で調整を進めた結果、検査や治療、クラスター感染拡大防止の態勢が大幅に改善されました。心配な時は、まずはかかりつけの医療機関、県民サポートセンター(0570-783-770)にご相談ください。

PCR検査体制の拡充

- かかりつけ医→発熱外来PCRセンター **32ヶ所**
(各地区医師会にて設置)
- 検査まで可能な医療機関 **446ヶ所**
- 帰国者・接触者外来 **67ヶ所**

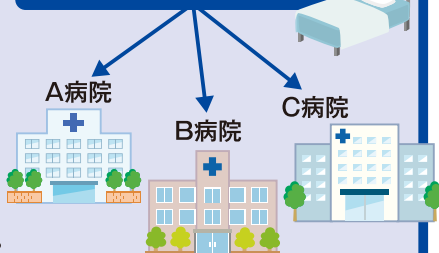
※上記箇所数は埼玉県全域の数字、個別の病院名等は非公表です。(9月14日現在)

病床の確保

1000床確保(ピーク時)

県全体として、感染の状況に応じた病床数の計画を立て、最大1095床(うち重症者向け122床)が確保されており、今後専門の医療施設の整備も計画されています。また、病床の空き状況の把握、患者さんの受け入れについては、県で一元的に管理されています。

県のコントロールセンター
空ベッドを県で一元管理



クラスター対策チームの設置

感染者が発生した
病院や施設



医師・看護師・保健師等

県は、感染者が発生した病院や施設などに派遣される、専門医や認定看護師などからなる対策チーム(COVMAT)を設置しました。それぞれの施設の担当者と連携し、感染拡大防止の支援を行います。

新党参加についてのご報告

この度、国民民主党、立憲民主党がそれぞれ解党し、無所属議員も含めて新党を設立することになりました。

この数週間、今まで辿ってきた紆余曲折の道のりを振り返りながら、改めて多くの皆様にお力をいただいていたことについて、深く感謝しました。皆様のご支援があって、はじめて今の私があります。今までご支援いただき、本当にありがとうございました。

これまでの間、皆様のお声を聞いてまいりました。

「今までの森田はどこへ行ってしまふんだ」という厳しいご意見もあり、また「おれたちは森田党でやってきたのだから、どこでも仕事が引き続きできる選択をしろ」という、温かな激励もいただきました。

悩みに悩みましたが、結論として、新党へ参加することにいたしました。

国の政策に関わると、自分の考えと党の方針が合わない場面もあります。しかし、国の将来を創るという大きな仕事をする以上、多少の意見の違いを乗り越え、皆で力を合わせて事に当たることが大切であると思っております。

地域の発展のため、皆様の声を一つ一つ形にすること。日本の幸せな未来を創るため、教育に力を入れること。自らの経験を生かし、誰もが生き生きと暮らせるよう福祉を充実発展させること。

国会議員として、これからも自分の成すべきことに全身全霊を傾けて取り組んでいきたいと思っております。

今後とも引き続きのご支援を、よろしくお願いいたします。

令和2年9月吉日

衆議院議員 森田俊和



麻生大臣、 西村大臣にも 直接要望

6月に閉会した第201回国会(通常国会)では、所属委員会にて新型コロナウイルスに関する対策、支援等について通算13回、登壇の機会をいただきました。委員会の質問では、給付金等について「申請が難しい」、「対象を広げてもらいたい」といった皆様からのご意見を、直接、麻生大臣や西村大臣に伝えました。霞が関周辺にいては聞こえてこない、皆様の生のお声を伝えることは、私の大きな務めです。私たちの命と暮らしを守るために必要な各種の支援策について、現場の状況を踏まえ質疑を行いました。(なお9月14日現在、森田はこれまで計57回の登壇の機会を与えていただいております。)

なお、質問の様子は衆議院のホームページからご覧いただけます。

<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>



1

持続化給付金の申請をしたが申請完了の連絡がなく、適切に受け付けられたのかわかりにくいのでは?

〈渡邊中小企業庁経営支援部長〉(5月27日 財務金融委員会)
書類の不備も多く、手間を要しているが、なるべく適切に迅速に処理できるよう、人員も増員して対応する。



森田はこう動く!

迅速に給付を行う段階は過ぎましたので、今後はきめ細かく、企業ごとの必要性に応じた支援を重視していきます!

2

地域経済活性化支援機構(REVIC)も含めたあらゆる手段の活用で地域経済を支えるべきでは?

〈西村大臣〉(6月9日 内閣委員会)
政府からの給付、公庫や金融機関からの融資等に加え、REVICから専門家を派遣することも含めて地域経済を支えていく。



森田はこう動く!

当座の借り入れでしのげる期間が過ぎようとしています。事業計画の抜本的な組み換えなど、中長期の視野に立った支援ができる体制を求めていきます!

埼玉12区(熊谷・行田・羽生・加須・川里)の動き

新型コロナウイルス対策で様々な行事が中止、延期となっています。このような状況下ではありますが、新しい様式を取り入れつつ、各地区にてがんばっていらっしゃる皆様を応援していきます！

熊谷 パナソニックが熊谷へ移転！ (熊谷スポーツ文化公園)



これまで群馬県に拠点を置いていたラグビーチーム、パナソニックワイルドナイツが熊谷に拠点を移すことになりました！

熊谷 ラグビー場で「のびのび演奏会」！ (熊谷スポーツ文化公園)



様々なイベントが中止となる中、臼杵さんの発案により、玉井中学校の吹奏楽部などが参加し演奏会が開かれました！

熊谷 「なないろ食堂夏祭り」開催！ (熊谷市石原)



地域の盆踊りなども中止となった中、子どもたちが夏らしい気分を味わえるひとときでした！

熊谷 「打ち水大作戦2020」開催！ (熊谷市万吉ほか)



恒例の打ち水大作戦は、今年はオンラインで開催。後藤衛生さんをメイン会場として、各ご家庭で打ち水が行われました！

行田 フライで子どもたちを元気に！ (行田市本丸)



いろいろと制約の多い夏休み、子どもたちを元気づけようと、「ゼリーフライ本舗たかお」さんがフライを振舞ってくださいました！

加須 渋沢栄一パネル展開催！ (加須市商工会館)



加須クリエイティブ&エンタテインメント、不動岡浪漫研究会の皆様により、不動岡高校や総願寺に縁のあった渋沢栄一の足跡が紹介されました。

加須 「からん夕涼み」開催！ (加須市向川岸町)



皆さんがそれぞれ手作りした行燈が、夏の夕暮れを涼しげに盛り上げてくれました！

地元のお店を応援！！

各市にて地元のお店で使えるプレミアム付商品券等が販売、配布されています。地元のお店を使って、地域を盛り上げていきましょう！



羽生市 プレミアム付商品券

20%のプレミアム付き。
※既に申込期間は終了しています。利用は来年2月28日まで。

◆羽生市商工会
☎048-561-2134



熊谷市 「STOPコロナ」地域応援プレミアム付商品券

30%のプレミアム付き。
販売は10月31日まで、使用は来年1月31日まで。

◆熊谷市商工業振興課
☎048-524-1111 (内線499)



鴻巣市 合併15周年記念 プレミアム付商品券

30%のプレミアム付き。9月30日までに申し込みください。(予約抽選方式)

◆鴻巣市商工会
☎048-541-1008



行田市 行田版バイローカル プレミアム付共通商品券

30%のプレミアム付き。
※既に申込期間は終了しています。利用は来年1月31日まで。

◆行田市商工観光課
☎048-556-1111



加須市 ちょこっとおたすけ 絆サポート券

1世帯5,000円分の「サポート券」を9月下旬から全世帯に配布(議会承認後)。使用は2月28日まで。

◆加須市産業振興課
☎0480-62-1111



行田 地元産大麦でビール造りに挑む！ (行田市谷郷)



はせがわ農園さんが、自社の畑で育てた大麦でクラフトビールを製造。お洒落なワインボトルで販売しています！

行田 忍川堤防をかさ上げ (行田市緑町)



昨年浸水被害のあった地域の堤防を平均30~40cmかさ上げします。

羽生 「愛藍タウン」オープン！ (羽生市岩瀬)



市が区画整理事業で進めていた新しい商業地区の街開きが行われました！

加須 旧川の浚渫を実施 (加須市駒場他)



北川辺地区住民の皆様の意向を受け、土砂を取り除きます。

スマートシティの実現に向けて！

熊谷市が「重点事業化促進プロジェクト」に選定されました！国交省から選定され、実現に向けた計画策定の支援を受けることとなりました。熊谷市の事業は、東京ガスやJR、NTTなどの大企業に加えて、埼玉県信用金庫などの地元企業が参画し、スポーツ文化公園などを核とした先進的なまちづくりを目指しています。



(熊谷市HPより)

オンライン座談会開催！

「子どもたちとどう向き合うか？
～子育ての悩み、伺います～」

10月4日(日) 16:00～ZOOMにて

(事前に右のQRコードからお申し込みをお願いします)

※先着10名様までの受付となります。応募多数の場合には、別日程にて開催いたしますのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染予防のため、オンラインでの座談会を開催いたします。学校や保育園、幼稚園など、子どもたちを取り巻く環境が変化し、親御さんも職場の変化があるなど、さまざまな悩みを抱えていらっしゃると思います。ぜひ、皆様のお悩みを聞かせてください。また、併せてご意見、ご要望などもお聞かせください！



メールマガジン発行中！

国政や地元の話題などについて、皆様へ情報をお届けいたします。お申し込みをお待ちしております！



国会見学、(気を付けながら)受付中！

新型コロナウイルス感染予防のため、国会見学はお休みしていましたが、体調管理、消毒の徹底、人数の制限などをしながら、条件付きにて再開しております。ご要望がございましたら、事務局までご一報ください。



森田としかずプロフィール

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、熊谷高校、早稲田大学政経学部、カナダ・マギール大学留学、早稲田大学大学院博士課程を経て、28歳で県議選初挑戦(23票差で次点)、県議2期を務めた後、平成24年衆議院議員選挙(55,663票で次点)、平成26年衆議院議員選挙(57,299票で次点)、平成29年10月衆議院議員選挙(86,007票で初当選)

【現在】立憲民主党(新党) 衆議院議員
(内閣委員会、財務金融委員会、地方創生特別委員会)
介護施設「上川原んち」代表
【趣味】鉄道、旅行、茶道、ものまね、カラオケ

